

# スクールESDくさつプロジェクト (モデル校) 松原中学校の実践

## 【松原”G-GRIT”学習】

松原中学校では、ESDの取組を”G-GRIT (Gaining for Globalization of Respect, Identity and Thought)” (※GRIT…粘り強くやり抜く力) と名づけ、「答えのない問いへの挑戦」を合言葉として、「松原未来学習」と「松原ローカル学習」の2本柱で、全学年を通じて系統的に学習を進めています。

## 【松原未来学習】

1年生…明治の社員による出前授業を機にフードロス問題の解決に向けて自分たちにできることを考える学習を行いました。



2年生…ユニクロやGUを店舗展開するファーストリテイリング社が進める「”届けよう、服のチカラ”プロジェクト」に参加し、着なくなった子ども服の回収に取り組み、それらを難民キャンプに届けます。

3年生…修学旅行で熊野古道を訪ねた際に見つけた課題をもとに、その解決策を考え、提言としてまとめた内容をクラスや文化祭で発表しました。

## 【松原ローカル学習】

松原中学区内に広がる豊かな農園地で栽培されている草津市産農産物「ベジクサ」に注目し、「地元愛の醸成」をテーマに学習を進めていきます。校地内の土地を活用して新たに「松原ファーム」開墾に取り組んでいます。生徒の主体性を大切にしながら、地域の方々や専門家との協働で地元野菜の栽培を行い、その魅力を発信していく予定です。

このような体験的な取組を通して、地元の特徴を学ぶ中で、地元を誇りを持てるようにし、これからの人格形成において、自己のアイデンティティ確立の糧とするとともに、持続可能な社会の創り手の育成、日本社会に根差したウェルビーイングの向上を図ります。



[担当 学校教育課]

市内各学校の取組 随時更新中です！

スクールESDくさつプロジェクトのその他の取組はこちらからご覧ください。

<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/kosodate/hoikukyoiku/shochugakkou/20230630.html>